

# Unisys Airport Solutions



これからの空港を支える「空港運営のためのITソリューション」

## 空港を待ち受ける乱気流を乗り越えるために

空港運営は大きな変革の時を迎えています。自由化、民営化といった制度面の変化、LCCの台頭をはじめとする航空会社の勢力図の変化そして旅客属性の変化。これらの変化は、空港間、そして航空と他の運輸インフラとの間の競争を一層激しくするものです。

エアラインに魅力的な就航条件を提示して路線を誘致し、長い行列などで旅客のエクスペリエンスを損なうことなく、セキュリティを確保し、なおかつ採算を維持する、という困難な課題が待ち受ける空港運営。オペレーションとビジネスモデルの再構築が迫られています。

### 空港施設の運用効率向上

持続的な空港運営には増収が欠かせず、増収に最も貢献するのが就航路線や発着便数の拡大であることは論を待ちません。しかし、それを実現しようとすれば施設容量がネックとなり、混雑空港においてはその規模が、閑散空港においては投資余力の乏しさがネックとなります。施設の制約は、容量不足、需要の流出、収入不足という悪循環を招きかねない空港経営の悩みの種です。

鍵となるのは「空港施設の運用効率向上」です。航空機の発着とターンアラウンド、そのために使用されるスポット、ゲート、手荷物ターンテーブル、カウンター等の割当て。それらのスケジュールと刻々と変化する実際の状況を掌握し空港運用のステークホルダー間で共有することで、遅延や機材変更をはじめとする様々な事態の悪影響を最小化、施設の能力が最大限に活かされます。

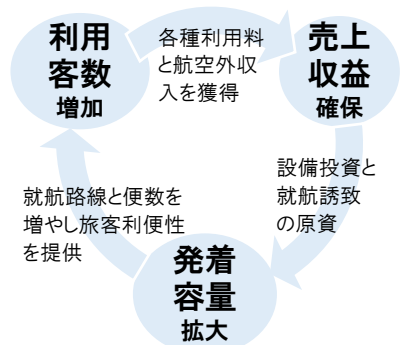
### 旅客フローの改善

運用の効率と表裏一体の関係にある旅客フロー。ターミナルの限りある設備で多くの旅客と荷物をスムーズに取り扱う必要があります。旅客フローの改善は空港内の手続きに伴う行列と待ち時間の短縮に直結します。旅客の快適性を増すだけでなく、空港にとっても搭乗前の飲食やショッピングなどでの収入増大、ドアソードアの総所要時間短縮による交通間競争での優位性強化、といったメリットにつながります。

大きな流れとなっているのが旅客セルフサービスの拡大とコモンユース（エアライン間の設備共用化）。例えば、チェックインを空港到着前にネットで済ませて手荷物は共通のバッグドロップで預けてもらう、といったプロセスを用意することで、旅客フローの大幅な改善を図れます。

これらの取り組みを通じて空港運営の成長サイクルを実現する、その手段として求められるのが「空港運営のためのITソリューション」です。

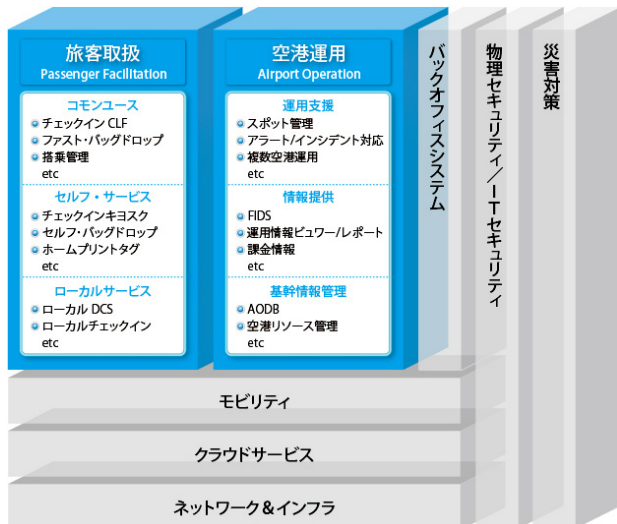
- 空港施設の運用効率を高め、確実な運航とコストの効率化に寄与
- コモンユース、セルフサービスをはじめとするシステムとプロセスの革新で旅客のサービスレベル向上満足度と効率性を両立
- 複数空港の一元管理でさらに経営効率を向上
- 世界100以上の空港で利用
- 大規模国際空港における、オリンピックなど巨大イベント対応の実績



## ユニシスの空港ソリューション

ユニシスの空港ソリューションは、旅客取扱と空港運用という基幹業務のためのコンポーネント群を擁し、世界最大級のハブ空港から小規模な地域空港まで、多くの空港で利用されています。

空港運営の課題に包括的に応える一方、特定のテーマ、たとえば「空港リソースの最適配分」や「搭乗客と受託手荷物との照合」といった課題に対応する柔軟性を併せもち、多くのステークホルダーと複雑な情報流通を伴う空港運営をサポートします。



## Unisys Airport Operations Suite: 施設の運用効率向上

Unisys Airport Operations Suite(AOS)は、包括的な空港運用管理システムです。航空管制、エアラインシステム、ハンドリングシステムと連携し、フライトスケジュールと施設運用の最新の情報を取得、データベース(AODB=Airport Operational Database)に集積します。そして空港内外のモバイルを含む各システム、旅客そしてステークホルダーへ、必要な情報がタイムリーに届けられます。

Unisys AOSは、空港運営者が空港全体、さらには複数空港の状況を掌握し、運用効率を高めるための情報基盤になるとともに、様々なエアラインと機材の就航条件をサポートし、施設に対する投資や料金設定といった空港経営の意思決定を支えます。

## Unisys Passenger Facilitation Suite: 旅客フロー改善とサービスレベル向上

Unisys Passenger Facilitation Suiteは、空港内外における広範な旅客取扱の機能を包含します。チェックイン、手荷物受託、ロードプランニング、搭乗といった一連のプロセスをカバーしてスタッフの業務効率を高めるとともに、自動チェックイン機、Web チェックイン、セルフサービス・バッグドロップといった旅客セルフサービスのためのモジュール、オプションとしてホームプリント・タグのための機能も含まれています。

多様なエアラインシステムとの接続そして既存のコンモンスプラットフォームとも共存するよう設計され、IATAのFast Travelプログラムに沿うものとして、その目標達成をサポートするように構成されています。

Unisys Passenger Facilitation Suiteは、旅客取扱プロセスの革新を進めてターミナル内の旅客フローを改善し空港としてのサービスレベル向上を図ろうとする空港運営者、そして空港業務を受託するハンドラに最適のソリューションです。



## 航空業界を支え続けるユニシス

ユニシスは世界の空港とエアラインの業務を数十年にわたり支え続けています。今この瞬間にもたとえば、

- 200以上のエアラインで
- 100以上の空港で
- 航空旅客チェックインの4分の1以上で

ユニシスのソリューションが利用されています。

お問い合わせ先 日本ユニシス株式会社

<http://www.unisys.co.jp/>

〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1

e-mail [airports@ml.unisys.co.jp](mailto:airports@ml.unisys.co.jp)

電話 03-5546-1111(代)

# Foresight in sight